

岸井 成格

「安保法案についても、単に政府の発表を放送するだけなら、良い法律のように見え
てしまう。でも、その裏には危険な思惑が
あることをしつかり解説して問題を投げか
ける責任が、ニュース番組にはあります。」

『女性セブン』2016年6月23日号より

報道機関に政府や権力から圧力がかけられ、政府に対する
無批判な報道がふえています。そつしたなかで、国民の声、
憲法と民主主義をないがしろにし成立した安全保障関連法
制に若者、ママ、そして多くの人々が廃止を訴え、声をあげ、
行動をつづけています。

民主主義と立憲主義の危機と70年つづく平和なくらし、
自由がおびやかされていることを、一人ひとりが自らの生活
のなかから感じとっています。

平和と自由をうたう日本国憲法が改憲され、戦争する国に
つくり変えられようとしています。いっしょに民主主義に
ついて、憲法、平和について考えてみませんか。



岸井 成格 きしいしげただ

1944年生まれ。

東京都出身。慶應義塾大学法学部卒業。67年毎日新聞社入社。熊本支局、政治部。ワシントン特派員を経て、91年論説委員。その後、政治部長、編集局次長、論説委員長。主筆を経て、現在は特別編集委員。2016年3月までTBS「NEWS 23」アンカー、日本ニュース時事能力検定協会理事長。NPO法人「森びとプロジェクト委員会」理事長、TBS「サンデーモーニング」コメンテーター。

著書に、『政変』『政治家とカネ』『大転換・瓦解へのシナリオ』『政治原論』『保守の知恵』(以上毎日新聞社)『永田町の通信簿』(作品者)など。(共著含む)

近著に、『議員の品格』(マイナビ新書)『偽りの保守・安倍晋三の正体』(講談社+α新書)

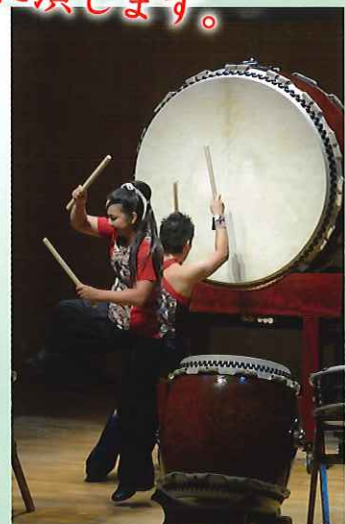
ひとりひとりと共感しあえる演奏を。そんな思いを胸に演じます。

和太鼓ユニット 光

和太鼓ユニット光(こう)のネーミングは「人の心をそっと照らす光の様な演奏をしたい」という思いと二人の奏者、羽田康次(はだこうじ)の「こう」、はだひかるの名から由来する。1999年結成。以来、愛知県を拠点に日本国内での公演やツアー、イベントへの出演、海外への遠征など精力的に活動。オリジナル曲を中心に、各地に伝承されている太鼓などをモチーフにした作品、民謡なども取り入れ、「懐かしくも新しい」ステージで観客を魅了してきた。

また、山本寛斎スーパーショー「アボルダージュ」への出演、宇崎竜童氏とのジョイントコンサート他、日本舞踊、ダンス、人形遣い、書道家、演歌歌手等、様々なアーティストとの共演が有る。

今年で活動18周年を迎え、更なる飛躍、発展を目指す。



会場内で各「九条の会」による活動の展示を行います。
参加のご応募をお待ちしております。